

モルタル面及びせっこうプラスター面の下地調整(改修)

2節 下地調整

7.2.1 施工一般

塗替えで、表 7.2.1 から表 7.2.7 までのRB種の場合の既存塗膜の除去範囲は、特記による。
特記がなければ、劣化部分は除去し、活膜部分は残す。

7.2.5 モルタル面及びせっこうプラスター面の下地調整

モルタル面及びせっこうプラスター面の下地調整は表7.2.4により、種別は**特記**による。
特記がなければRB種とする。

表7.2.4 モルタル面及びせっこうプラスター面の下地調整

工 程	種 別			塗 料 そ の 他			面の処理
	RA種	RB種	RC種	規格番号	規格名称	種 類	
1 既存塗膜の除去	○	—	—	—			ディスクサンダー、スクレーパー等により、全面除去する。
	—	○	—	—			ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化し脆弱な部分を除去し活膜は残す。
2 汚れ、付着物除去	○	○	○	—			素地を傷つけないようにワイヤーブラシ等により、除去する。
3 ひび割れ部の補修	○	○	—	—			4章[外壁改修工事]によるひび割れ部の補修は 特記 による。
4 吸込み止め	○	○	—	JIS K 5663	合成樹脂 エマルジョンシーラー	—	既存塗膜を除去した範囲に塗り付ける。
5 穴埋め・パテかい	○	○	—	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	ひび割れ、穴等を埋めて、不陸を調整する
				JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
6 研磨紙刷り	○	○	—	研磨紙P120～220			乾燥後、表面を平らに研磨する
				研磨紙P240～320			
7 パテしごき	○	—	—	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	全面をしごき取り、平滑にする
				JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
8 研磨紙刷り	○	—	—	研磨紙P120～220			乾燥後、全面を平らに研磨する

(注) 1.アクリル樹脂系非水分散形塗料塗りの場合、工程4の吸込み止めは、塗料の製造所の指定するものとする。

2.合成樹脂エマルジョンパテは外部に用いない。